

方 針	1	実施期間	5月25日
事 業 名	ゆったり足湯ピザ工房 ※帯広市まちなか催事支援採択事業（早期枠）		
実施場所	utari（西2条南10丁目20-4）		
実施主体	株式会社ふく井ホテル		
参加者（来場者）数	24人		
来年度の実施について	☒ 同じ内容で実施する ☐ 内容を一部変更し実施する ☐ 実施しない ☐ 未定		
実施した事業の内容	帯広市内の店舗前スペースを活用し、地元産の野菜やチーズを使った24cmピザ作り体験と、モール温泉を活用した足湯体験を組み合わせた1日限定イベントを開催しました。 参加者は自らトッピングしたピザを石窯で焼き上げ、足湯に浸かりながら地域の味を楽しむことができました。 食と癒しの両面から、十勝の資源や魅力を体感してもらい、交流促進・関係人口創出・地産地消の推進を図りました。 		
事業実施により中心市街地活性化に寄与した効果・事業を通じて感じたことなど			
「足湯×ピザ作り体験」という新たな地域資源の活用により、来街者に対して他では得られない体験価値を提供することができました。 親子連れや観光客を中心に多くの来場があり、体験後には周辺テナントでの買い物や飲食も行われ、地域内回遊性の向上が見られました。 また、十勝産の食材やモール温泉といった地元資源のPRにもつながり、地域の魅力を再発見する機会となりました。 実施風景はSNS等でも発信され、中心市街地の滞在時間延長と賑わい創出に一定の効果があったと考えます。 今回の事業を通じて、足湯やピザづくりといった“体験型”の取り組みが、来街者の関心を引き、地域資源を楽しみながら学んでもらえる有効な手段であることを実感しました。 実際に親子連れや観光客が多く訪れ、賑わいの創出や滞在時間の延長に寄与しました。 一方で、運営面では人手や技術的なサポートが限られており、繁忙時の対応や安全管理に課題が残りました。 今後は地元事業者や学生との連携を強め、地域全体で支える仕組みづくりが必要だと感じています。 また、継続的な開催に向けた収益構造の確立も今後の検討課題です。			